

令和 6 年能登半島地震 復旧・復興に係る意見聴取 及びアンケート調査について

I 調査概要

1 目的

令和6年能登半島地震からの復旧・復興に向けて、本市では「羽咋市復興計画」（以下、復興計画）という。）の策定に向けて、住民・地域・行政が一体となって取り組む必要があることから、本調査では、住民や地域の声を丁寧に把握するため、各地域で説明会や懇談会の際に意見聴取及びアンケート調査を行い、住民の意向を復興計画に集約するとともに、今後の実施計画に向けての資料作成を行う。

2 調査の実施方法

(1) 意見集約（各説明会や懇談会等）

支援制度や液状化対策の説明会で寄せられた市への意見や要望のほか、復興に向けて住民・事業者の生の声を集約すべく、復興まちづくり懇談会を開催した。

No.	内 容	対象地区等	期 間
1	支援制度説明会	町会等の要望に応じて実施	令和6年2月17日～3月17日
2	液状化対策説明会	液状化被害の大きい地区	令和6年4月22日～5月20日
3	復興まちづくり市民懇談会	市内全域	令和6年6月24日～7月10日

(2) アンケート調査

多くの住民の声を集めるため、下記の手法でアンケート調査を実施した。

No.	手 法	概 要	期 間
1	アンケート	復興まちづくり市民懇談会参加者にアンケート調査を実施した。	令和6年 6月24日～7月11日
2	オンラインアンケート	電子申請システムを利用したオンライン回答フォームを利用してアンケート調査を実施した。	
3	ご意見専用ダイヤル	オンラインが難しい人向けに意見投稿用の電話自動応答機（自由意見用）を設置した。	

(3) 調査項目

アンケート調査は下記の9つの項目で質問を実施した

1	回答者について
2	住まいの被災状況
3	発災時の避難状況
4	避難所法等の取得方法
5	震災後の生活状況
6	この先の居住状況
7	今後の復興に向けて必要と思うこと（5つの柱ごとに）
8	地域が日ごろから充実させておくべきこと
9	自由意見

II 実施内容

1 説明会・懇談会の開催状況

① 説明会（町会等からの要望及び液状化被害のひどい地区で開催）

No.	開催日時	開催場所	参加者数	備考
1	2月17日(土)10:00～	的場会館	45	支援制度説明会
2	2月17日(土)13:00～	本町会館	50	支援制度説明会
3	2月24日(土)10:00～	志々見会館	11	支援制度説明会
4	2月26日(月)10:30～	本町会館	13	支援制度説明会
5	3月 2日(土)10:00～	市役所	10	支援制度説明会
6	3月 4日(月)14:00～	大町会館	15	支援制度説明会
7	3月17日(日)10:00～	兵庫会館	12	支援制度説明会
8	3月17日(日)18:40～	本町会館	48	支援制度説明会
9	4月22日(月)19:00～	羽咋公民館	75	液状化対策説明会
10	4月26日(金)19:00～	本町会館	60	//
11	4月27日(土)19:00～	御坊山会館	80	//
12	4月28日(日)13:30～	的場会館	48	//
13	5月20日(月)19:00～	羽咋公民館	25	//
	13会場	合計	492	

② 復興まちづくり市民懇談会（市内全域を対象に開催）

No.	開催日時	開催場所	参加者数	備考
1	6月24日(月)19:00～	羽咋公民館	86	資料4・5
2	6月25日(火)19:00～	富永公民館	26	資料4・5
3	6月27日(木)19:00～	邑知公民館	33	資料4・5
4	6月28日(金)19:00～	千里浜公民館	42	資料4・5
5	6月29日(土)10:00～	上甘田公民館	15	資料4・5
6	6月29日(土)14:00～	一ノ宮公民館	10	資料4・5
7	7月 2日(火)19:00～	鹿島路公民館	58	資料4・5
8	7月 4日(木)19:00～	越路野公民館	19	資料4・5
9	7月 5日(金)19:00～	余喜公民館	31	資料4・5
10	7月 9日(火)19:00～	神子原分館	20	資料4・5
11	7月10日(水)19:00～	粟ノ保小学校	26	資料4・5
	11会場	合計	366	

2 アンケート調査（主計結果は速報値）

・アンケート調査結果の概要は以下のとおりである。

対象	復興まちづくり懇談会参加者等
調査方法	・懇談会参加者に配布、回収 ・オンラインより回答（全戸配布チラシにQRコード掲載）
回収	回収数：合計354票（内訳：用紙331票、オンライン23票）

アンケート調査票（資料6）

1ページ

復興まちづくり市民懇談会アンケート

本日は、復興まちづくり市民懇談会にご参加いただきありがとうございます。つきましては、今後の復興に生かすため、アンケート調査を実施します。お手数ですが、ご協力のほどよろしくお願いたします。【質問1～9】回答は該当欄に☑するほか、町名・ご意見等をご記入ください。

アンケートは、当日回答のほか、市ホームページや下記のQRコードからも回答できます。

WEBからの回答受付期間 7/11（水）

【質問1】 あなた自身のことについてお答えください。（1/1現在）

性別： 男 女 無回答

年齢： 20歳以下 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳以上

住所： 市内 町 その他（ ）

職業： 農業 漁業 商工業 飲食・宿泊業 その他サービス業
会社員・団体職員・公務員 アルバイト・パート 家事専業
無職 その他（ ）

【質問2】 あなたの住まい等の被災状況についてお答えください。

あなたの被災前の居住状況をお答えください。
持ち家 借家（一戸建て） アパート・マンション
その他（ ）

あなたの現在の被災状況をお答えください。
全壊 半壊（大規模・中規模含む） 半壊 一部損壊
被災していない わからない・知らない

【質問3】 発災時の避難状況についてお答えください。

あなたの発災時の避難状況をお答えください。
避難しなかった 避難所に避難 車中泊等
市内の親戚・知人宅に避難 市外の親戚・知人宅に避難
その他（ ）

※次のページをご記入ください。

2ページ

【質問4】 避難情報等の取得方法についてお答えください。

避難情報や避難指示を何から取得しましたか？（3つまで）
防災行政無線 電話問い合わせ（市役所等） テレビ・ラジオ
安全・安心メール 市公式LINE インターネット（SNS等のSNS等）
その他（ ）

情報を要するうえで取付たことはありましたか？（3つまで）
防災行政無線が聞こえない 電話が繋がらない
公式LINEが双方向でない インターネット情報が本当かわからない
その他（ ）

【質問5】 震災後のあなたの生活状況についてお答えください。

震災による日常生活への影響をお答えください。
震災前と変わらない 震災の影響をやや受けた
震災の影響を大きく受けた

震災後に不安に感じることをお答えください。（複数選択・可）
居住状況の悪化 健康・体調の変化 収入の減少
安心して暮らしているか不安 地域が元に戻るか不安
相談できる場所がない
その他（ ）

【質問6】 この先の居住状況についてお答えください。

あなたの今後の居住状況の意向についてお答えください。
このままずっと住み続ける 当面の間住み続ける
市内で転居する予定 いずれ転居する予定
市外に転居することが決まっている（下記の設問へ）
↳（被災により転居 転居に震災は関係ない）

【質問7】 復興に向けた取り組みについてお聞かせします。説明会（資料2）の内容で、あなたが今後の復興に向けて、必要と思うことは何ですか？（5つの柱ごとにお答えください。）

1 暮らしの再建について（資料2・P9～11）

あなたが、必要と思うものをお選びください。（3つまで）
復旧等に関する各種行政情報の速やかな提供
被災した住宅等の公費解体の迅速な実施
被災者の心身の健康維持
子どもや高齢者、障がい者など配慮が必要な住民の健康維持
被災者に対する行政手続きへの負担軽減
被災者の税負担等の軽減措置

上記以外で必要だと思うことをご記入ください。
（自由記述欄）

※次のページをご記入ください。

3ページ

2 地域の再生について（資料2・P12～14）

あなたが、必要と思うものをお選びください。（3つまで）
個人住宅の耐震化推進
地区の集会所等の早期復旧
市内内外からのボランティアの受入強化
移住の受入促進
ふるさと教育の推進
被災した文化財等の復旧

上記以外で必要だと思うことをご記入ください。
（自由記述欄）

3 地域経済の復興について（資料2・P15～18）

あなたが、必要と思うものをお選びください。（3つまで）
被災した個人事業主や中小企業に対する補助等の迅速な実施
被災した農業施設の早期復旧
アランド・イメージの回復に向けた地元特産品等の開発や販売の強化
観光誘客の強化（修学旅行や合宿誘致、インバウンド強化）
若者の地元就職の促進
事業承継の促進
プレミアム商品券などの発行による市内消費の喚起
復興イベントの実施

上記以外で必要だと思うことをご記入ください。
（自由記述欄）

4 インフラの復旧・強靱化について（資料2・P19～21）

あなたが、必要と思うものをお選びください。（3つまで）
道路、橋梁等の液状化対策や耐震化
上下水道の耐震化
停電時に備えた再生可能エネルギー（太陽光発電、蓄電池）の推進
迅速かつ正確に伝える情報通信体制の強化
農業施設、漁池等の強靱化
小学校、公民館、スポーツ施設等の公共施設の復旧・強靱化
公共交通など住民の移動手段の確保

上記以外で必要だと思うことをご記入ください。
（自由記述欄）

※次のページをご記入ください。

4ページ

5 災害に強いまちづくりについて（資料2・P22～24）

あなたが、必要と思うものをお選びください。（3つまで）
ハザードマップ等の整備
自主防災組織の積極的な設置
防災士や防災ボランティアコーディネーターの育成
復興に向けた地域コミュニティの強化
住宅や事業所などに太陽光発電設備や蓄電池などを設置し、災害時においても電力を確保できる基盤の整備（再掲）
災害時においても生活用水を確保できる取組みの促進
防災や安否確認、避難等に関する情報を迅速に市民に提供するデジタル基盤の整備（再掲）
避難所機能の強化や備蓄物資の確保

上記以外で必要だと思うことをご記入ください。
（自由記述欄）

【質問8】 今後、大規模災害が起きた時のために、地域が日ごろから充実させておくべきと思うことについてお答えください。

あなたが、地域で充実させておくべきと思うことをお選びください。（3つまで）
緊急時の連絡体制の構築
避難所や避難経路の確認
災害時における要援護者の居場所の確認
防災訓練の実施
必要物資の備蓄
ご近所づきあいの強化
特になし
その他（ ）

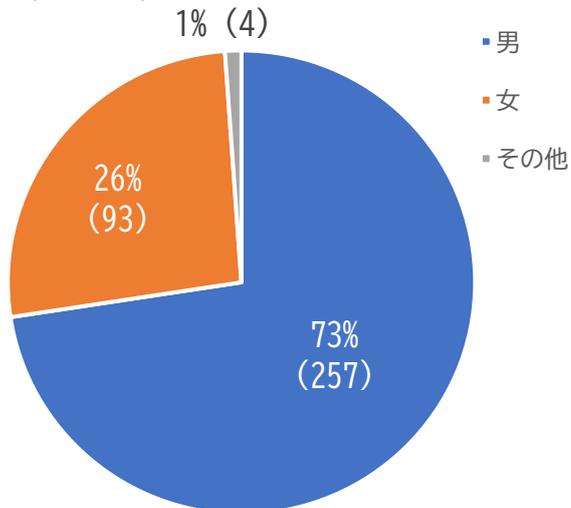
【質問9】 ご意見・ご要望をご自由にお書きください。
（自由記述欄）

※このアンケートにご記入いただいた内容につきましては、本市の復興に関する意見集約・調査・研究以外には一切使用いたしません。
＜ご協力ありがとうございました＞

3 アンケート調査結果

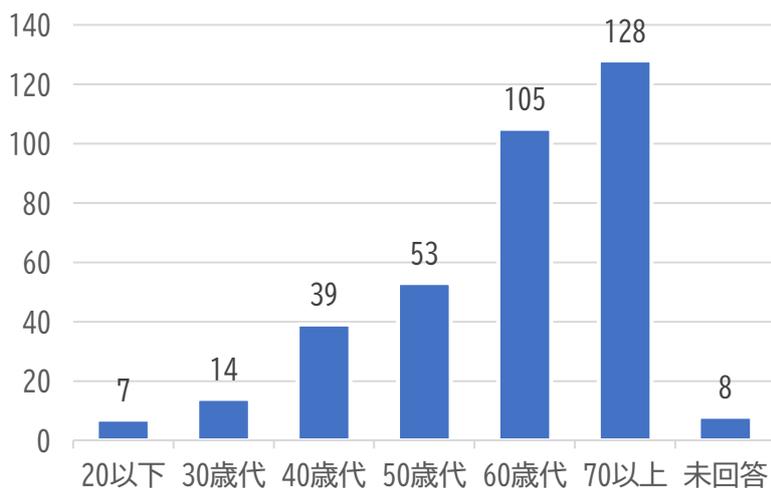
(1) 回答者の属性

① 性別 (n=354)



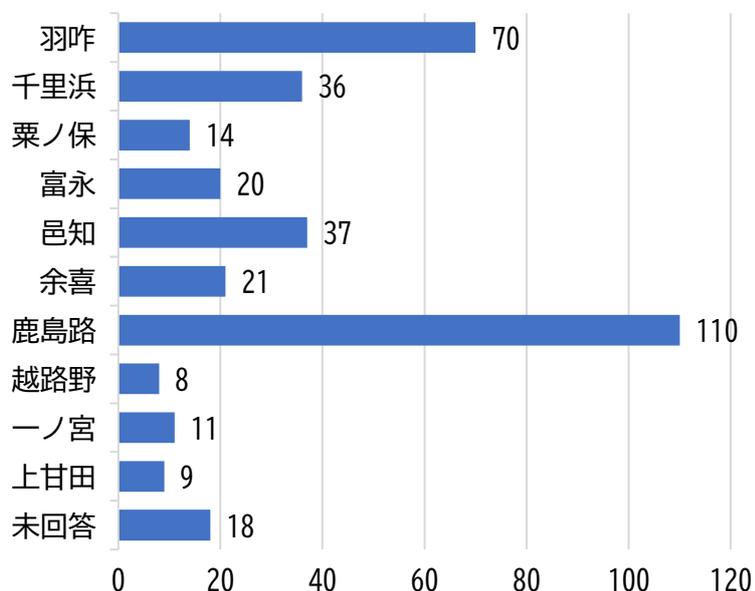
回答者の性別は、全体で男性 73%、女性 26%、その他 1%である。

② 年齢 (n=354)



回答者の年齢は、全体で40歳未満 6%、40歳代 11%、50歳代 15%、60歳以上 65%以上である。

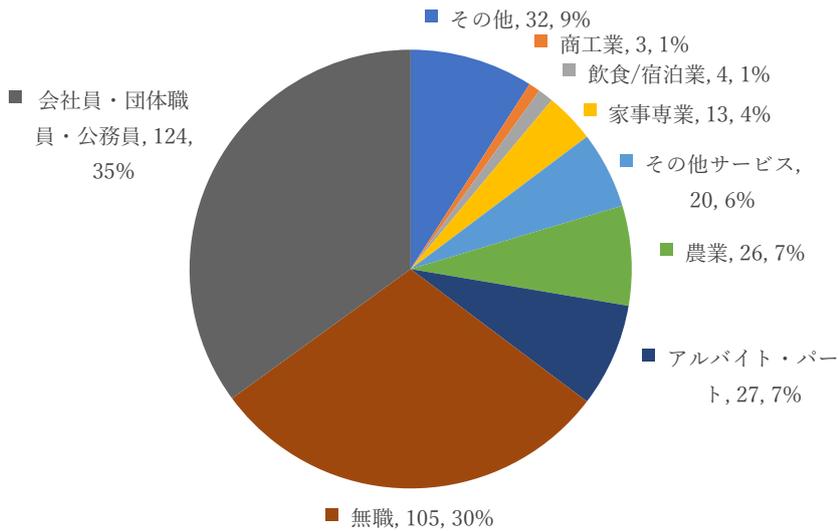
③ 住所 (地区単位) (n=354)



回答者の地区別住所は、概ね各地区の人口に沿った数だが鹿島路地区のみ突出して多い。

鹿島路地区の7/1の人口468人
回答率 23.50% (110/468)

④職業 (n=354)

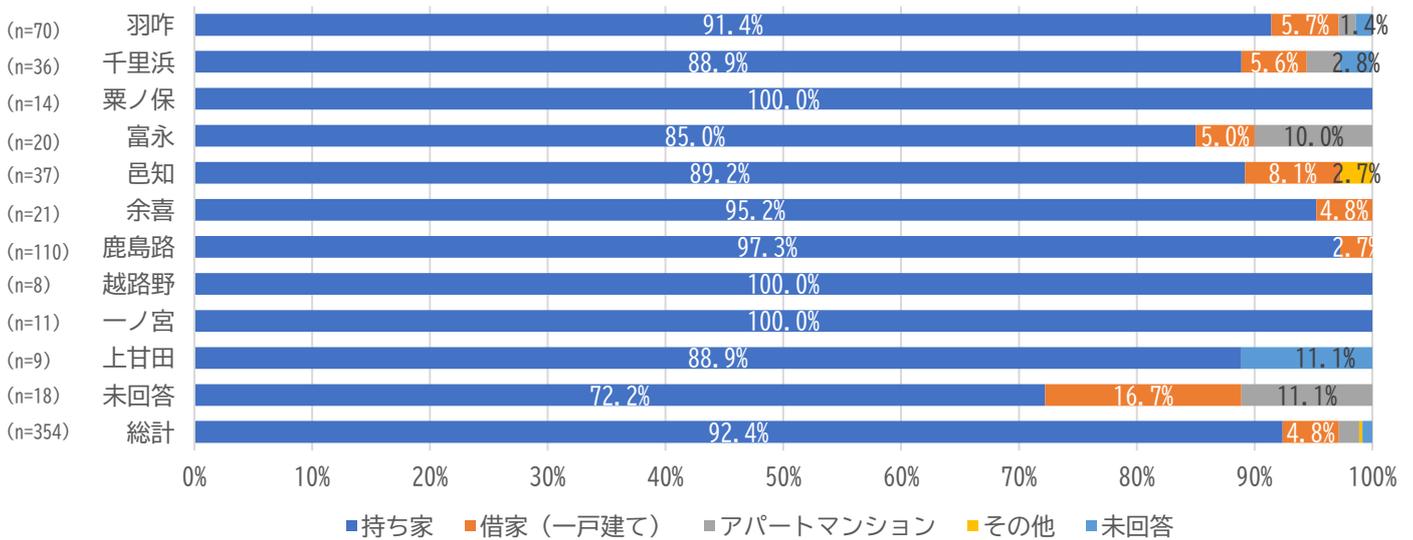


・回答者の職業は、全体で会社員・団体職員・公務員35%
無職30%、
アルバイト・パート27.7%
農業26.7%
その他サービス20.6%
家事専業13.4%
飲食・宿泊業4.1%
商工業3.1%
その他32.9%

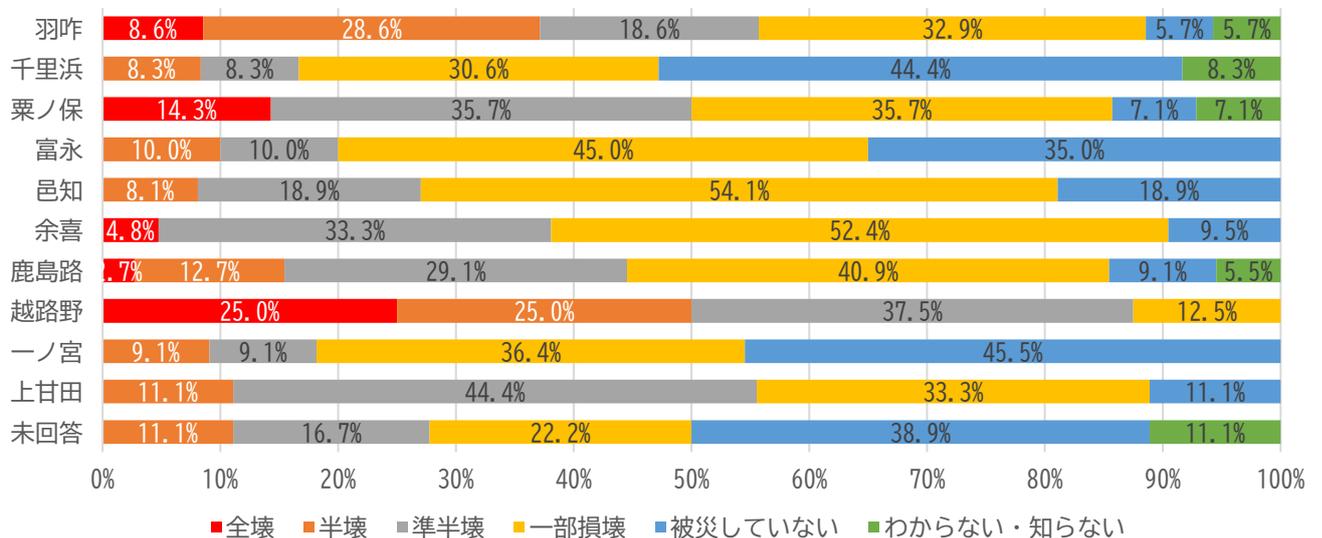
農業・家事専業・無職 (144人)のほとんどは60歳以上 (95.1%) (60歳以上137人/144人)

(2) 住まい等の被災状況について

① 被災前の居住状況



・どの地域においても、持ち家率が非常に高い。

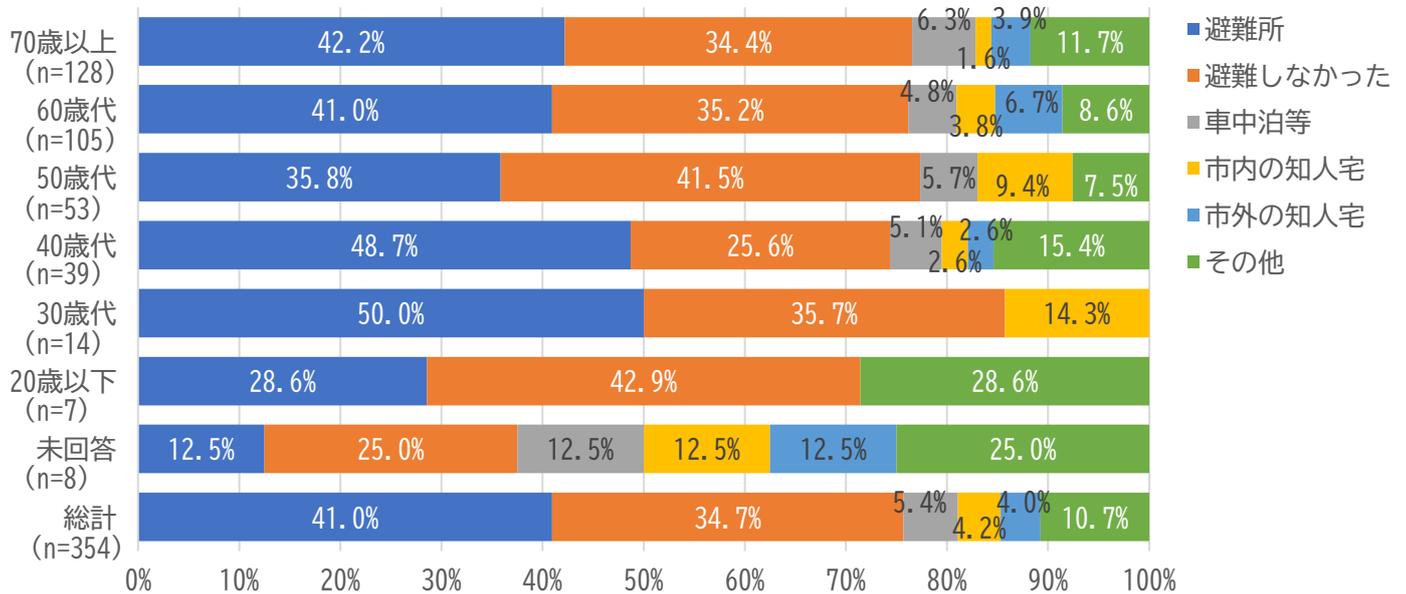


・各地域において一部損壊の割合が大きい。

(3) 発災時の避難状況について

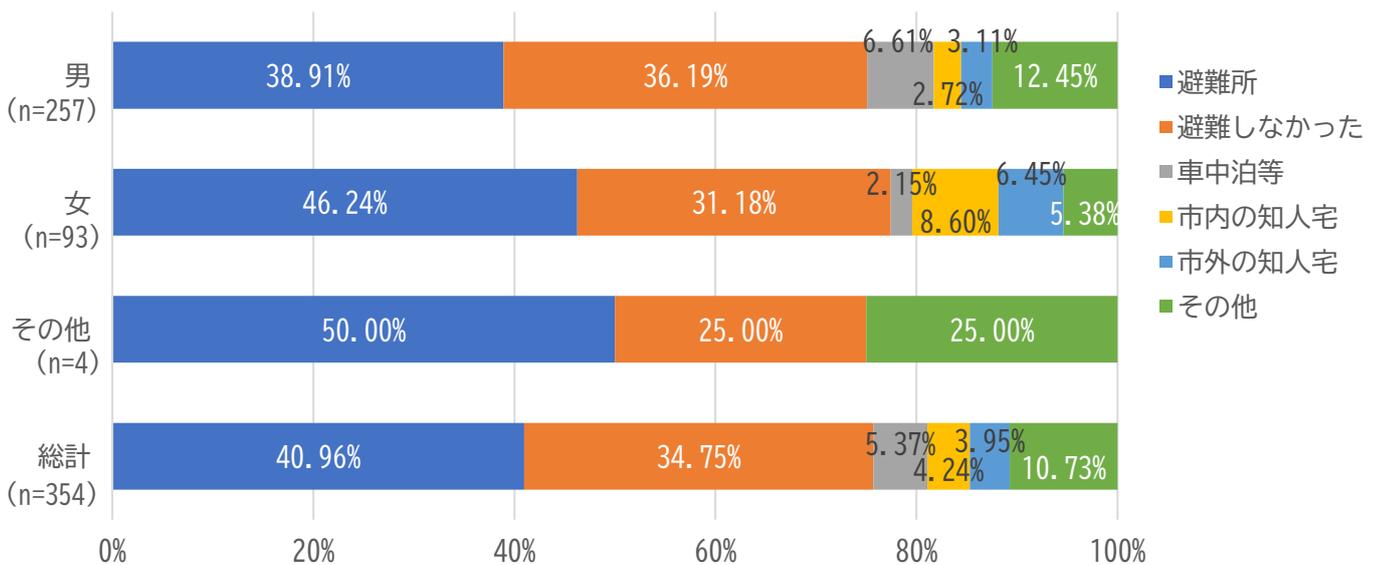
① 発災時の避難状況

[年齢別]



- ・その他の回答では、地元の町会施設（会館）、市役所（指定避難所ではない）、一時的に山や高台へ避難、勤務先（職場）等
- ・発災時には、41.0%が避難所へ避難が一番多く、次いで34.7%が避難をしなかった。それ以外では、車中泊5%、市内知人宅4.2%、市外知人宅3.9%、その他10.7%である

[性別別]

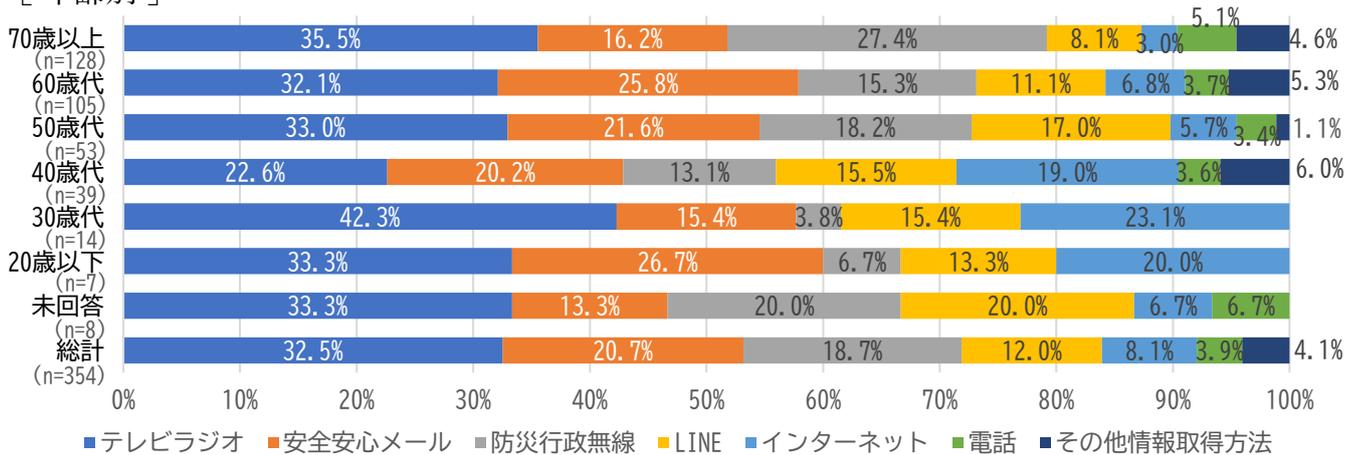


- ・男女別では、何らかの避難をしたのが女性が68.8%、男性63.8%となり、女性の方が若干多く避難の割合が多い。

(4) 避難情報等の取得方法について

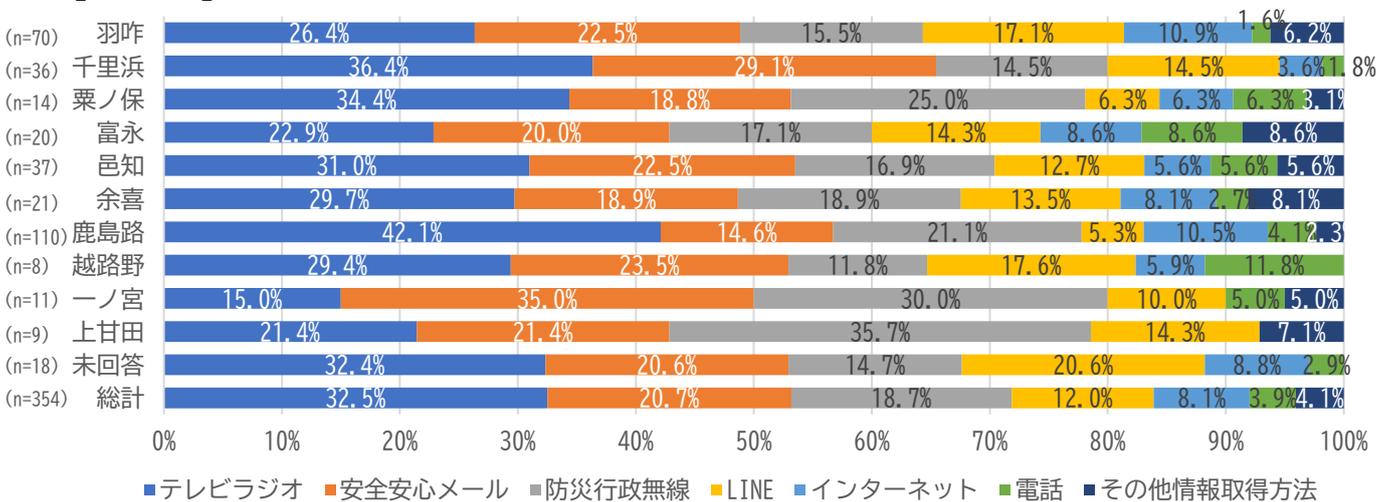
① 取得方法

[年齢別]



- ・情報の取得方法は、年代問わずテレビラジオが最も多い（32.5%）、また、40代以下ではインターネットからの割合が多い。

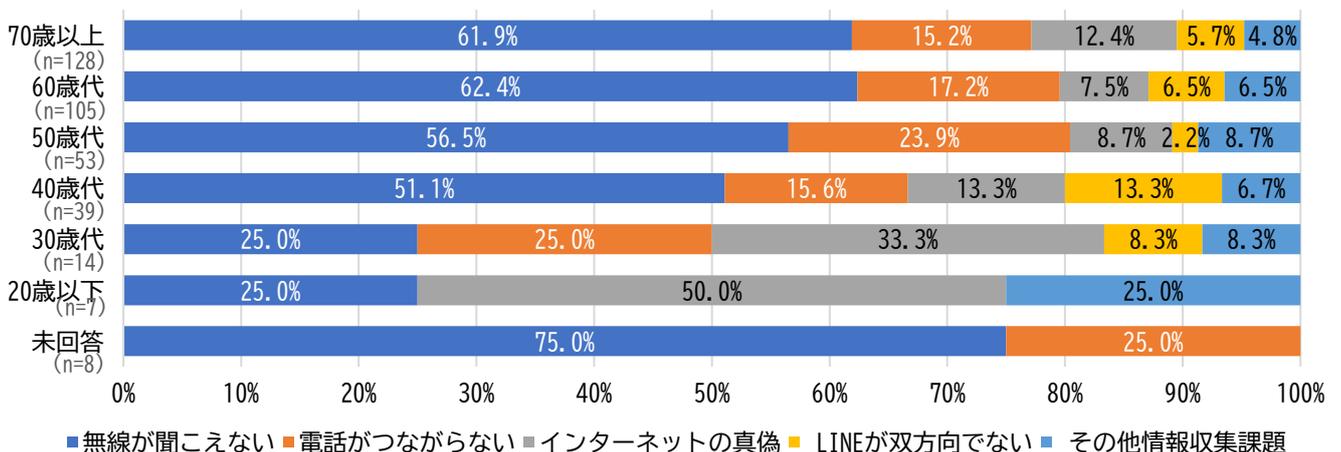
[地区別]



- ・一ノ宮地区と上甘田地区は、テレビラジオより防災行政無線からの情報取得したとの回答が多い。

② 取得する上で困ったこと

[年齢別]

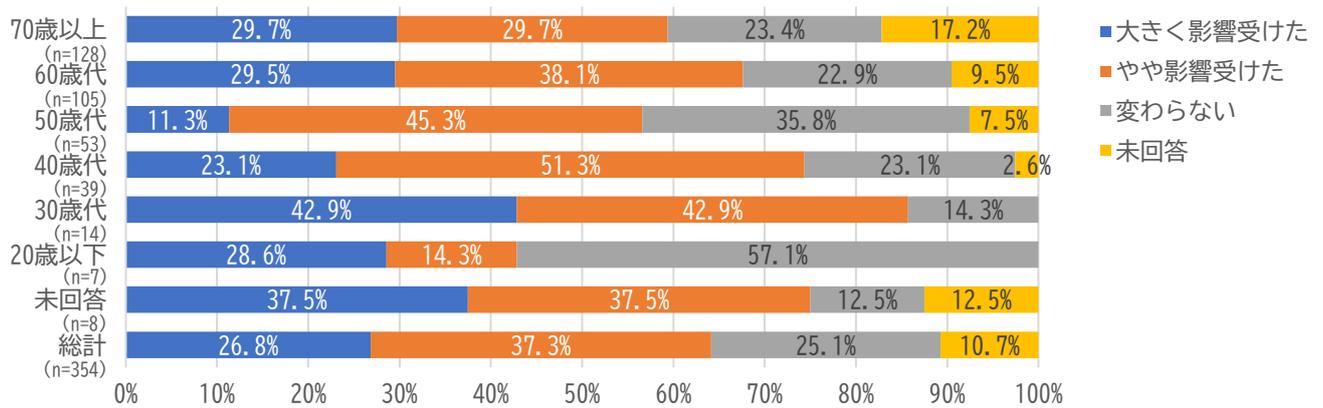


- ・防災行政無線が聞こえないとの意見が最も多い。
30代以下ではインターネット情報の真偽に困る割合が多い。

(5) 震災後の生活状況について

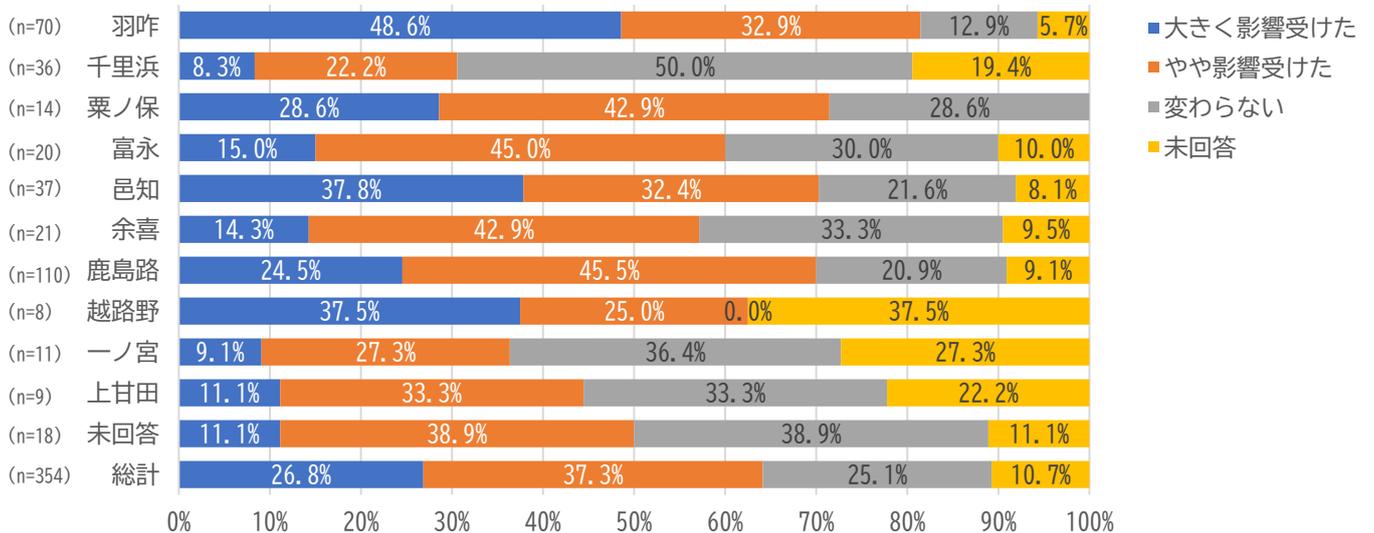
①日常生活への影響

[年齢別]



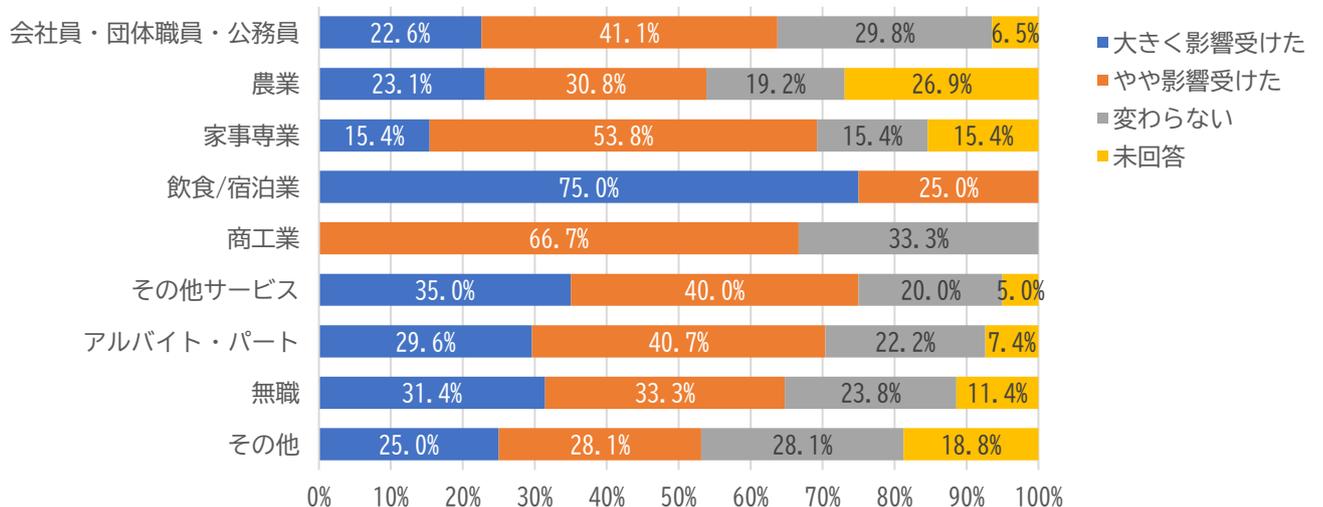
・震災により何らかの影響を受けた割合は64.1%となり、年代別では30～40歳代が多い。

[地区別]



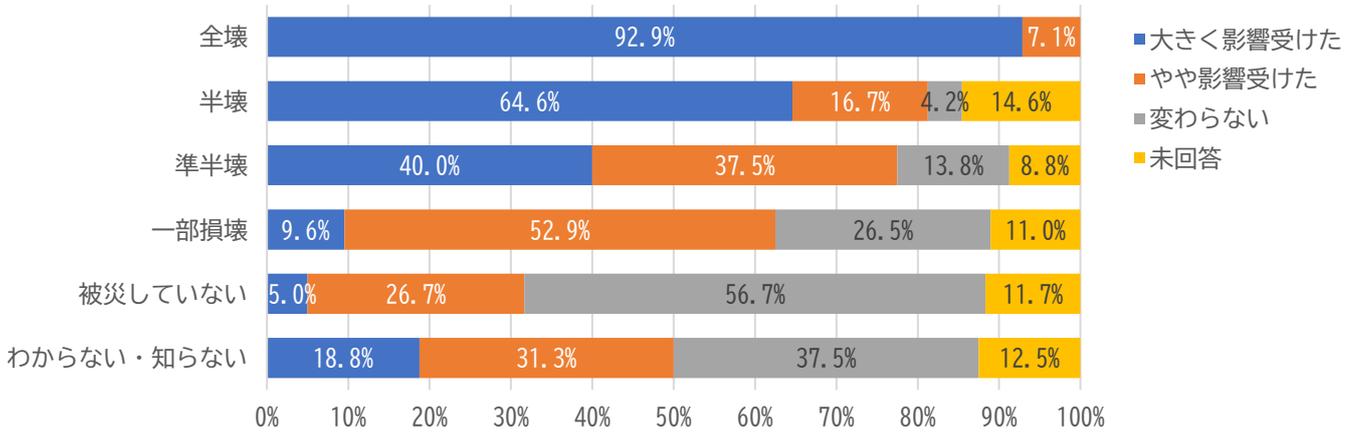
・地区別では液状化によりエリアで被害のひどかった羽咋地区がもっと多い。

[職業別]



・職業別では飲食/宿泊業が最も影響を受けている。

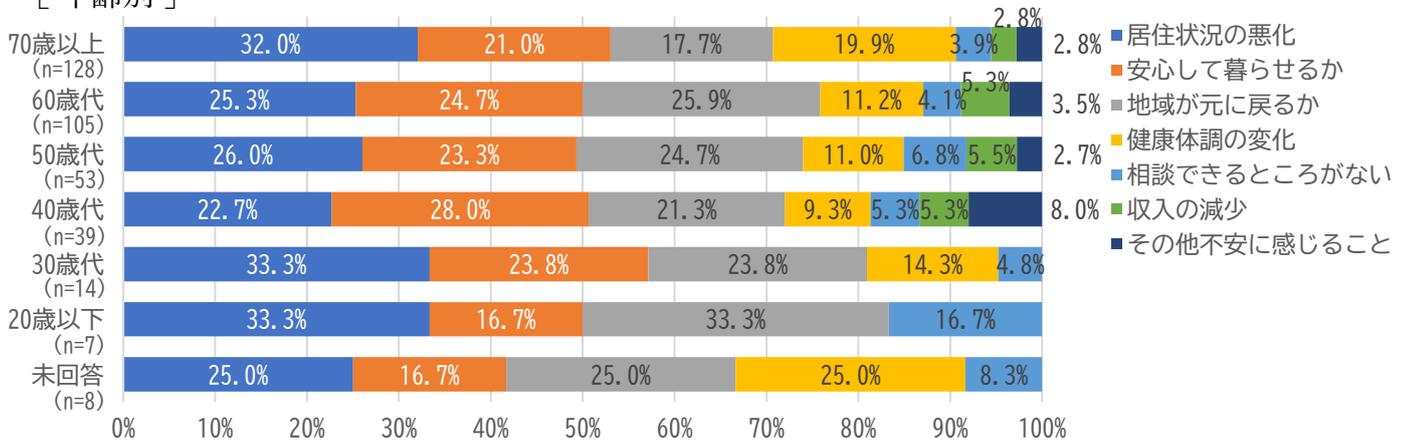
[被災状況別]



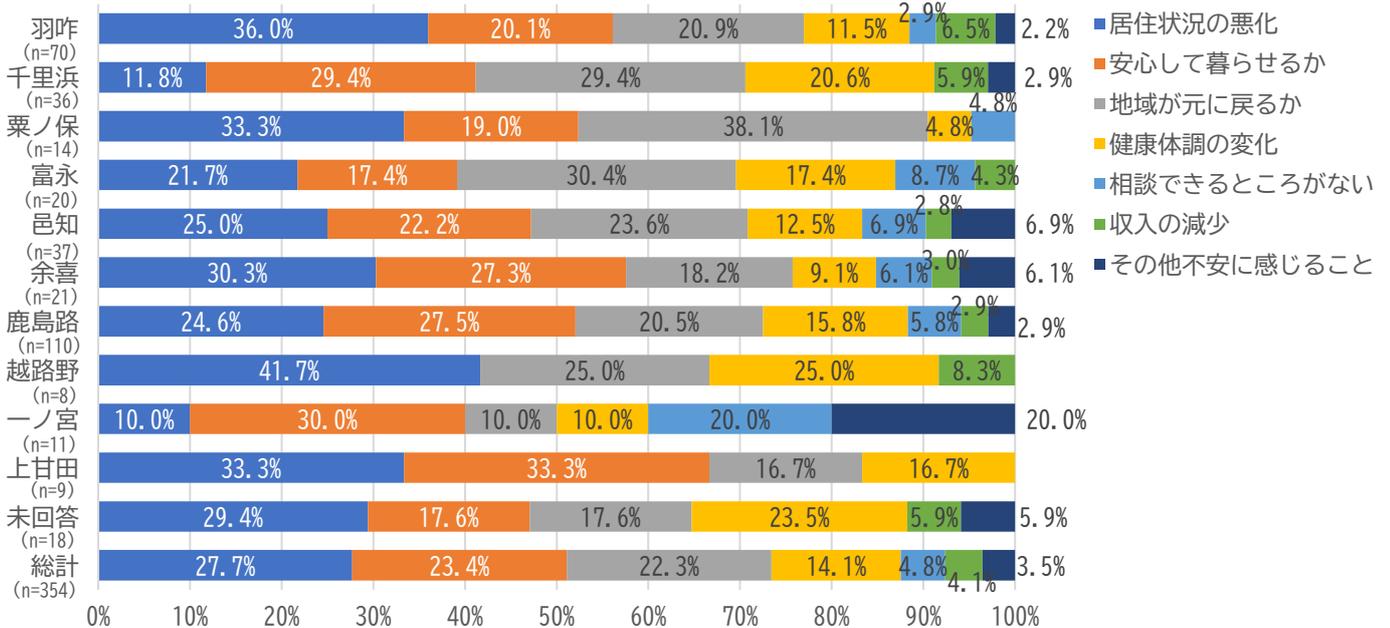
・当然のことながら、被災割合が大きいほど、生活への影響は大きくなっている。
また、被災していなくても、31.7%が何らかの影響があったと回答している。

②不安に感じること

[年齢別]



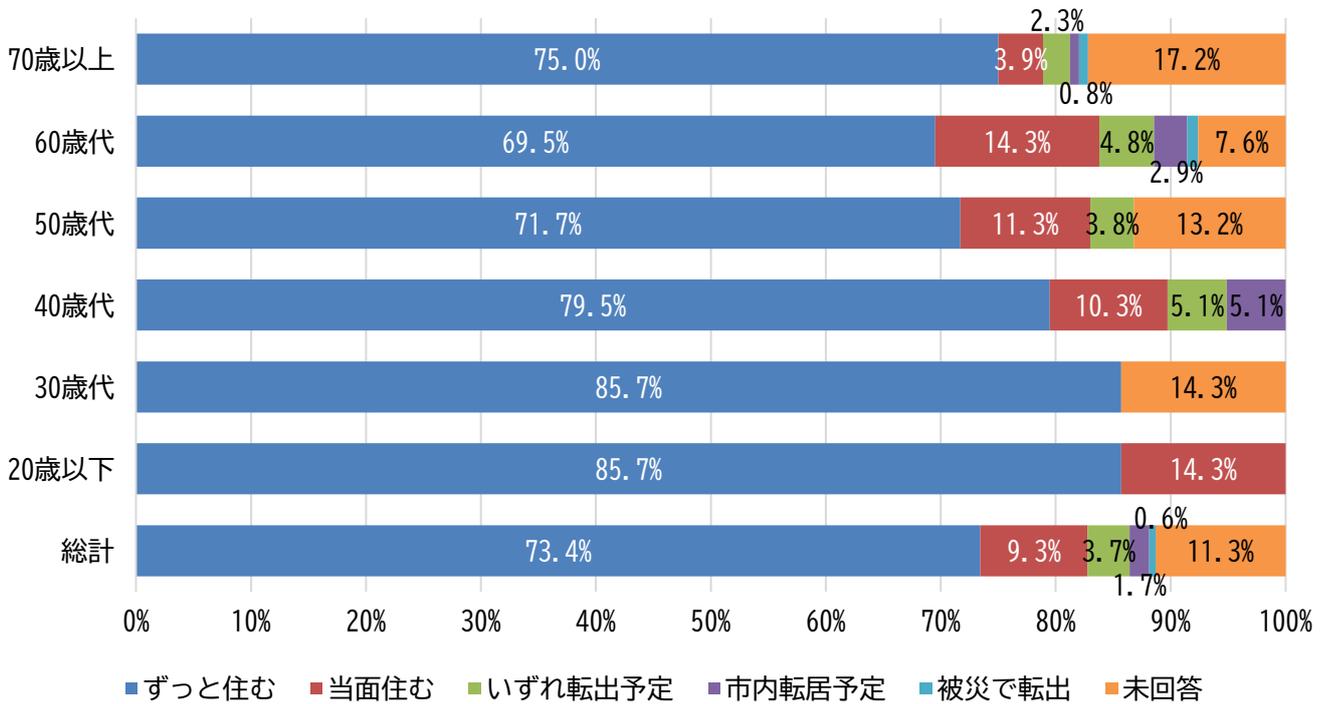
[地区別]



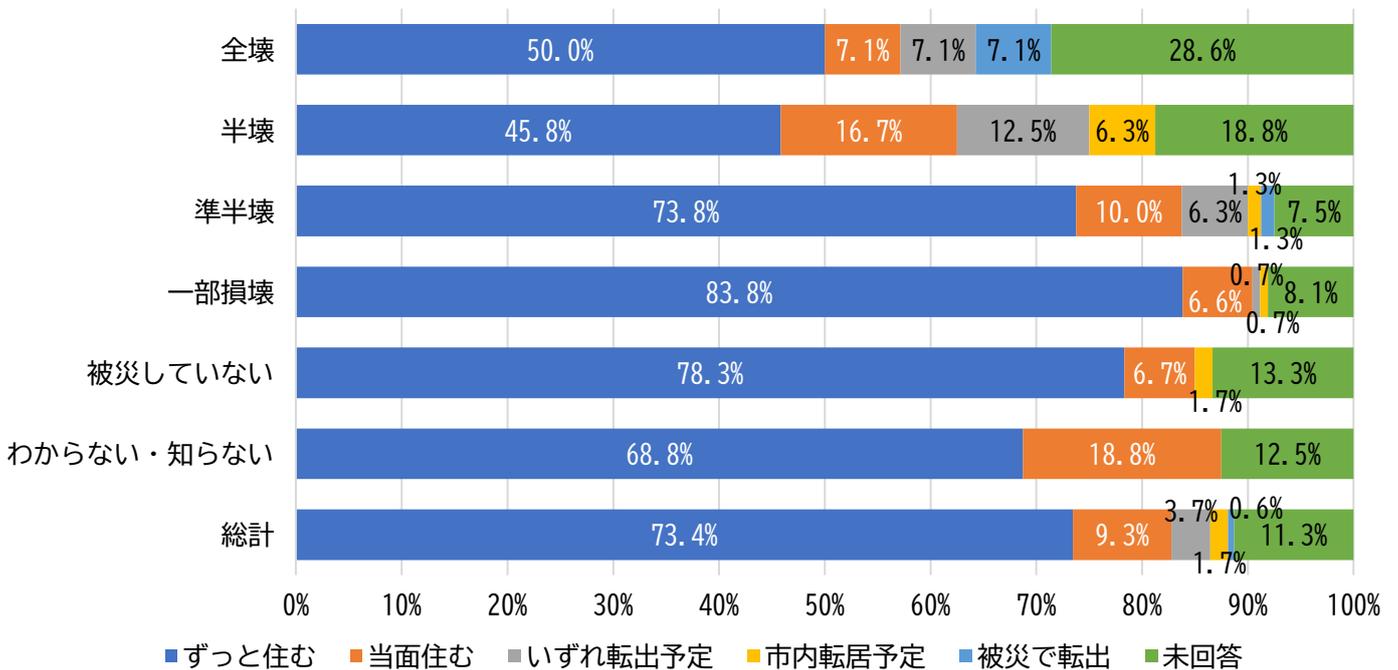
・全体としては住まいや地域も含めてどのように暮らしていくのか不安に感じる割合が多く、高齢者ほど体調面での不安がある。

(6) この先の居住状況について

[年齢別]



[被災状況別]

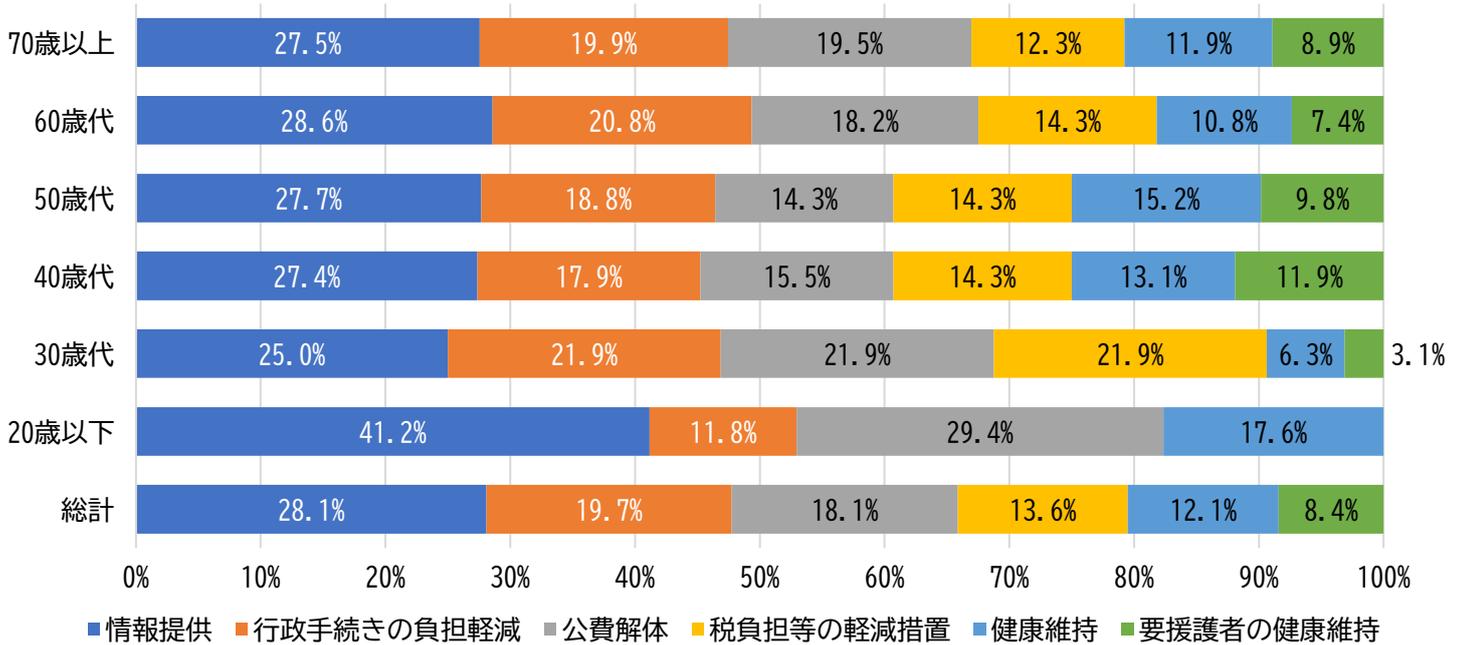


- ・被害程度が大きいほど、今後の見通しが立たないためか、未回答の割合が多い。現段階での被災による転出は1.7%と低いが、被害の大きい準半壊以上ではいずれ転出する予定と考えている割合が多くなっている。

(7) 今後の復興に向けて必要と思うこと

①くらしの再建について

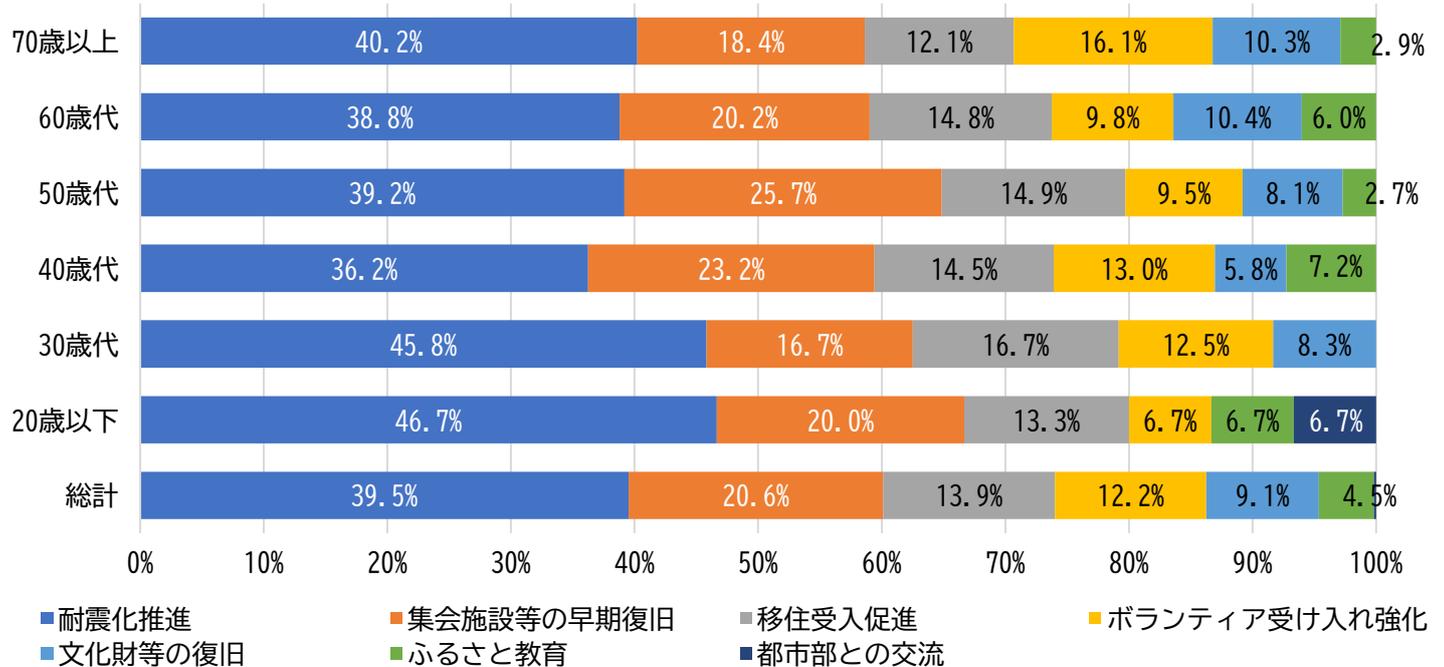
[年齢別]



- ・どの年代でも、まずは速やかな復旧等に関する情報提供が必要との認識が多かった。あわせて、行政手続きの負担軽減の必要性が求められている。

②地域の再生について

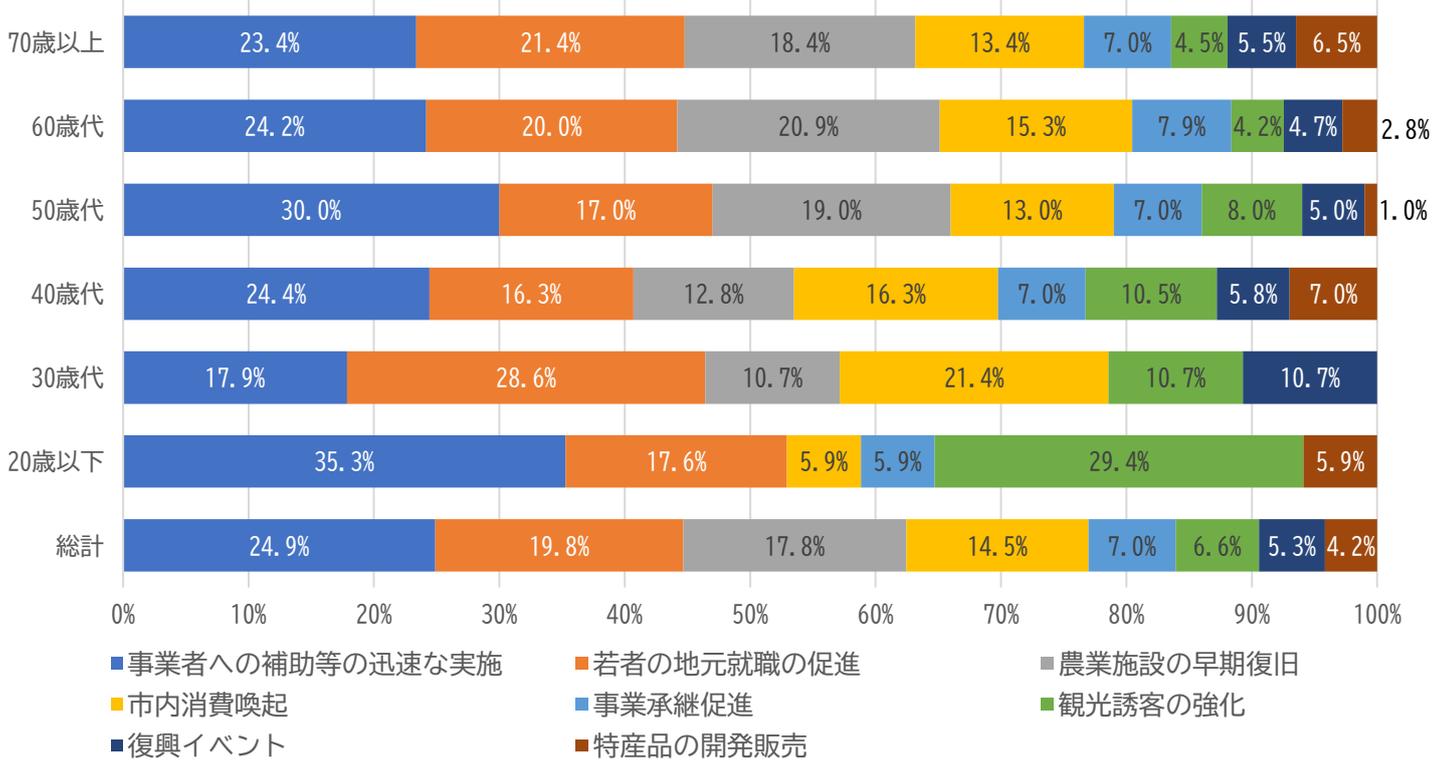
[年齢別]



- ・どの年代でも、個人住宅の耐震化推進が最も必要との認識がされている。また、市内では集会施設（会館や神社等）の被害も多いためか、集会施設等の早期復旧が個人住宅の耐震化推進の次に求められている。

③地域経済の復興について

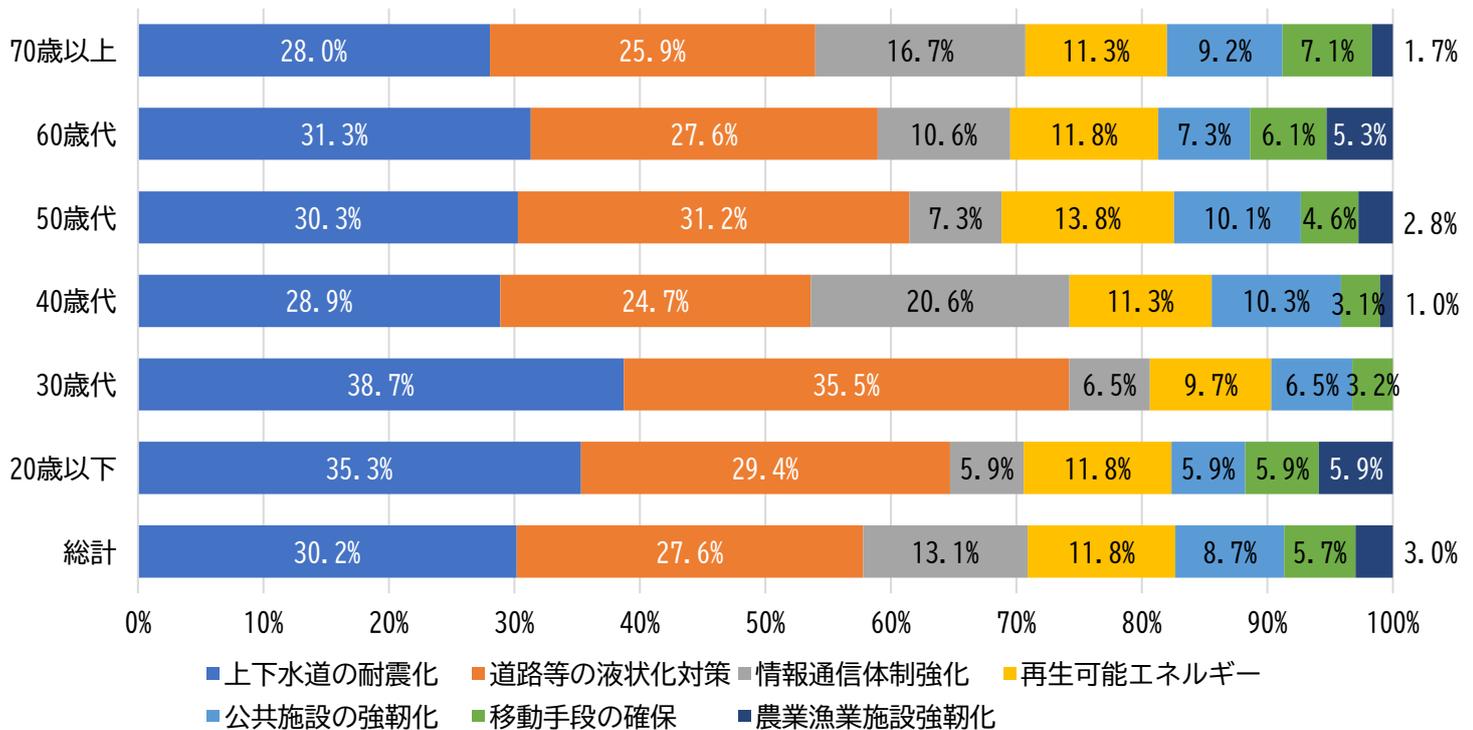
[年齢別]



- どの年代も事業者への補助と若者の地元就職の促進が必要だと認識している。また、20歳代以下は復興イベントの実施よりも観光誘客の強化が必要と考えている。

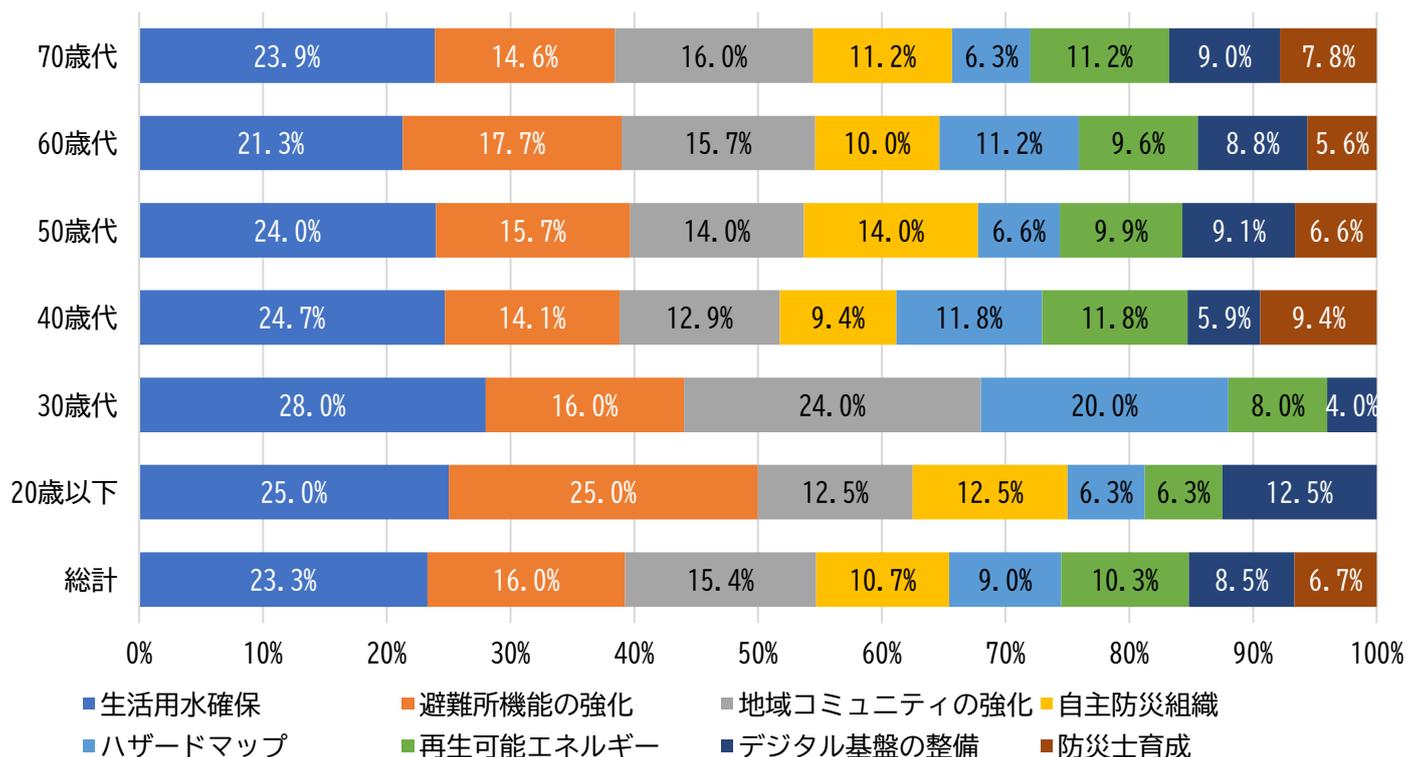
④インフラの復旧・強靱化について

[年齢別]



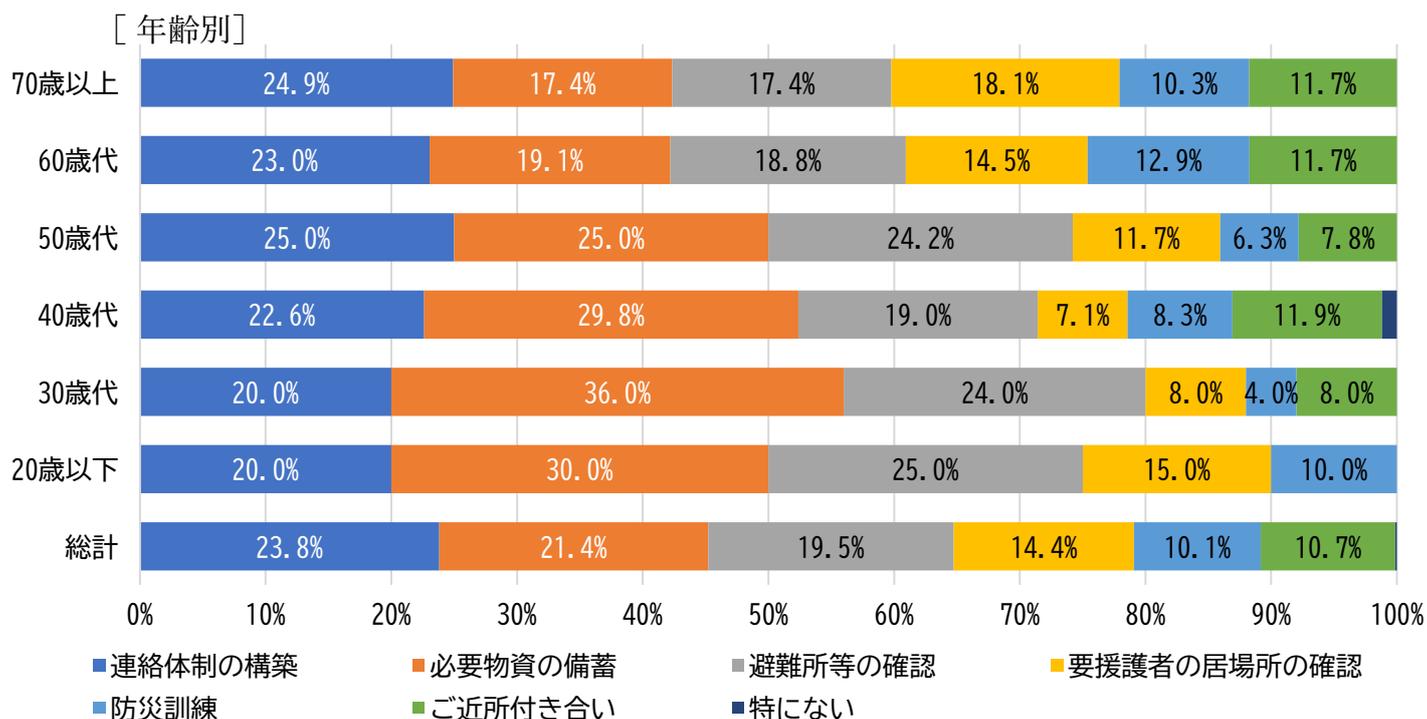
- どの年代も、今回の地震で被害が大きかった上下水道と道路等の液状化への対策が重要と認識している。また、年代が上がるにつれて移動手段の確保が必要と回答する人が増えている。

⑤災害に強いまちづくりについて
[年齢別]



・今回の地震で断水となったためか、どの年代も生活用水の確保が重要と認識している。30歳代は自主防災組織の設置、防災士の育成との回答がなく、地域コミュニティやハザードマップの整備についての回答が他の年代よりも大きい。

(8) 今後、大規模災害が起きた時のために、地域が日ごろから充実させておくべきこと



・どの年代も、連絡体制の構築、必要物資の備蓄が必要と認識している。また、50歳代以上から要援護者の居場所の確認が必要との回答が増加している。

(9) 説明会・懇談会での参加者の意見・要望
 (支援制度等の質問は除くとともに、重複する内容はまとめて記載)

① 柱1「くらしの再建する」関連

意見・要望	集約先等
<p>1 生活再建に向けた相談・支援・情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出張申請窓口が必要ではないか ・支援メニュー等出張相談実施希望 ・液状化対策、復興基金の支援制度の説明会は、今後もあるのか ・高齢者など申請をするのが面倒だと感じている人もいるので、町会が市と連携して進めていく必要があると思っている ・定期的な広報が欲しい ・情報の提供を早くしてほしい ・復旧・復興の状況を市HPで発信してほしい 	<p>P. 9</p> <p>1-①に集約</p> <p>1-②に集約</p>
<p>2 当面の住いの確保と再建に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅再建には相当時間がかかると思うが、その間の住居の確保が必要である ・ふるさと回帰型応急住宅「石川モデル」の建設を県に要望すべき ・石野町の仮設住宅の戸数が少ない 	<p>P. 9</p> <p>2-①に集約</p> <p>災害公営住宅(柱2-2)で検討</p>
<p>3 こころと体のケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノイローゼになりそうだが、相談できないか ・静岡県では長屋タイプの仮設住宅と地域の見守りを両立させているので参考にしてほしい ・避難所から戻ってきた方の心のケアが必要である ・避難している人はコミュニケーション不足になりがちなので、高齢者や被災者視点に立った対応を ・障がい者に寄り添った対応をしてほしい ・乳児・こども。老人への配慮を ・高齢な被災者は途方に暮れているので訪問してあげてほしい 	<p>P. 9～10</p> <p>3-①に集約</p> <p>3-②に集約</p> <p>3-③に集約</p>
<p>4 ICTを活用したスマート生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が手続きしやすい仕組みを準備してほしい。 ・高齢者のネットリテラシーの向上が必要 	<p>P. 10</p> <p>4-①に集約</p> <p>4-③に集約</p>
<p>5 義援金及び税制上等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥能登6市町だけ義援金がもらえるのはおかしい ・支援金の加算が奥能登6市町だけなのは不公平である ・七尾以北・以南も同じ地震の被害なので支援に差が生じないようにすべき ・介護保険料の減免について載っていたが、国民健康保険税の減免もしてほしい 	<p>P. 10</p> <p>引き続き県へ要望</p> <p>5-②に集約(今後減免予定)</p>

③ 柱2「住み続けるふるさと（地域）を再生する」関連

意見・要望	備考
<p>1 住宅再建等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地盤改良の支援がないと再建する気にならない ・地盤改良の支援をお願いする ・大川町北新、桜が丘について、液状化対策を実施するのか ・液状化対策を取り組む前に住民に向けた説明会を開催してほしい ・全壊で建築するという人には100万円しか出ない。この金額を引き上げることはできないか ・大川町北新のように液状化のひどい地域をもう一度住めるように整備するのか ・ボーリング調査の結果を見てから直そうとしている。ぜひ調査をしてほしいし、調査結果をすぐに地域に教えてほしい ・液状化がひどいという声が市に届いていないのではないかと不安だった ・再建するのに大変な費用が掛かるため、支援にもう少し耳を傾けてほしい ・直さないと歯抜け状態になるのはよろしくないと思うので、この個人差をどう埋めて全体で対策がたてられるような案を考えていただきたい ・今後の地震対策を ・耐震化率向上を図ればどうか ・耐震リフォーム支援事業について、もっと強化してほしい 	<p>P. 1 2</p> <p>1 - ②に集約</p> <p>1 - ③に集約</p>
<p>2 新たな住まいの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害公営住宅をぜひ建設してほしい ・2年後災害公営住宅に入りたい ・高齢1人暮らしで新たに住宅を再建する選択肢は考えられず早急に災害公営住宅の整備を希望 ・災害公営住宅を各地域に分散することで、従来から住んでいる人の心の後押しになる 	<p>P. 1 2</p> <p>2 - ①に集約</p>
<p>3 地域コミュニティ施設等の再建への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会館の修理支援が必要 ・神社、町会で集まる場所を回復させて安心安全な町会にしたい ・充実したコミュニティ支援の要望 	<p>P. 1 3</p> <p>3 - ①②に集約</p>
<p>4 関係人口等の拡大、移住の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所では、ボランティアや炊き出しの方々には大変お世話になりました 	<p>P. 1 3</p> <p>4 - ①に集約</p>
<p>5 ふるさと脳教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと教育の推進」郷土愛を育むこと、地元への誇りを地元の人が共有していることが帰ってきたくなる、永住したくなる故郷になると考える 	<p>P. 1 3</p> <p>5 - ①に集約</p>

③ 柱3「地域経済を復興する」関連

意見・要望	備考
1 生業（なりわい）の再建 ・事業者への支援も大切	P.15 1-①②③に 集約
2 農林水産業の再建 ・朱鷺やコウノトリが飛来できるよう農業のあり方を考えてほしい ・農業施設や農機の補助を ・農業に魅力を感じる人の移住施策をした方が良いのではないか	P.15 2-⑧に集約 2-①に集約 2-③に集約
4 就労支援と若者の地元定着推進 ・若者が帰って働ける場所をつくる ・県外にいる子供たちが戻ってこれるよう就労場所の確保をお願いします ・起業や創業支援を ・事業継承の促進は、現在の事業が減ってしまっは元も子もないのでこのサポートは手厚くするべき	P.16 } 4-①に集約 } 4-②に集約
5 地域経済活性化・6にぎわい創出 ・経済を盛り上げるべき ・経済の活性化が一番重要である ・他都府県で羽咋のアピールイベントは必要であり重要である ・UFO商品券について、紙は不便なのでキャッシュレスとしないか	P.16 } 5-③ 6-① } に集約 今後の実施計画 等で検討

③ 柱4「インフラを迅速に復旧・強靱化する」関連

意見・要望	備考
<p>1 公共インフラの復旧・強靱化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の破損個所について、こまめに応急処置を行ってほしい ・早期に道路を簡易でなくきちんと直してほしい ・被災が少ないが、道路整備がなかなか進んでいない ・町内の道路の早期復旧を求める ・道路の早期復旧を求める ・倒壊した建物で道路を塞いでいる ・長者川の復旧工事を迅速に行うよう強く要望する <ul style="list-style-type: none"> ・道路を広くし、避難が速くできる道路をつくってください <ul style="list-style-type: none"> ・道路に面する以外のブロック塀にも支援をしてほしい ・家屋だけでなくブロックや石垣の状態も考慮してほしい <ul style="list-style-type: none"> ・本江・酒井地区の断水対策を強く要望する ・早期に給水できたが、配水できないため6か月経過しても日常生活に戻れていない 	<p>P.19</p> <p>} 1-①に集約</p> <p>1-②に集約</p> <p>} 1-③に集約</p> <p>} 1-④に集約</p>
<p>2 農地・農業用施設・林道・漁港等の強靱化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和堤が底地から水漏れしているようだが、市と情報交換しながら対処していきたい 	<p>P.19</p> <p>2-③に集約</p>
<p>4 地域公共交通の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のるまいかーの停留所が柴垣町にない。次回ぜひ設置してほしい ・のるまいかーを邑知公民館を停留所としてほしい 	<p>P.20</p> <p>} 4-①に集約</p>

③ 柱5 将来を見据えた災害に強いまちをつくるについて

意見・要望	備考
<p>1 防災意識の普及と啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽咋市として防災訓練や避難訓練を実施すべき ・災害発生時に役員として何をすればいいのかわからなかった ・災害を忘れて発災、反省教訓の災害です ・珠洲市を見るとあまりに悲惨で防災組織があったところでと考えさせられる ・防災に対する意識と知識の向上の為にやるべきこと徹底していきたい 	<p>P. 2 2</p> <p>1 - ①③に集約</p>
<p>2 地域コミュニティの再建</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご近所付き合いの強化、町会も交えて考え直す事 ・近所の方々とコミュニケーションが取れず毎日不安の日々が続いている ・絆、結びつきを強くして、いざというときお互いに助け合える関係を築くこと 	<p>P. 2 2</p> <p>2 - ①②に集約</p>
<p>3 災害情報の収集・発信及び伝達体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線が全然聞こえないが、家の電話で流れるシステムなどをつくれないうか ・防災行政無線がききとりにくい。SNSやメールで情報発信しているようだがその登録の仕方から市民に周知すべきである ・高齢者はスマホが使えない。しっかりとした情報を得る手段を ・災害ジャンル(台風、水害、地震)に対しての適格な掲示の知らせを徹底してほしい 	<p>P. 2 3</p> <p>3 - ①③に集約</p>
<p>4 災害に備えた体制整備の強化・連携・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のために、今回何ができなかったか、何が必要だったかなどを振り返り、集約して、示してほしい ・避難所となっている学校にカギがかかっているすぐに避難できなかった例もある ・今回の経験を活かし、初動体制を明確にしたマニュアルを作成してはどうか ・位置・距離的に避難場所の見直しをしてほしい ・地区ごとに井戸を設置するとともに、災害時井戸を開放してくれる家を地図上で表示する水マップを作ってはどうか ・水の確保に県水導入前の簡易水道なども活用してはどうか ・停電時でも機能するポンプアップ式井戸を市内に整備すべき 	<p>P. 2 3</p> <p>4 - ①②に集約</p> <p>4 - ⑧に集約</p>
<p>5 避難所機能の強化・備蓄物資の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災トイレや備蓄品について検討してほしい ・障がい者にも配慮した避難所（トイレなども含めて）を検討してほしい ・避難所に太陽光発電設備や貯水タンクの設置を 	<p>P. 2 3</p> <p>5 - ①③に集約</p>

③ その他（自由意見）

意見・要望	備考
<p>■ 個別計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災後の地域に実情に合わせた個別計画を ・地区ごとに被害状況が違うが、復興計画に反映させられるのか <p>■ 市への復興に向けての要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復旧と復興を併せてやってほしい ・復旧に関して市としてリーダーシップを発揮してほしい ・復興計画案には、今までにも出ていた話の繰り返しではなく、新しいことをやっていくべきだと思う <p>■ 安全安心のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災者は生活水準が下がっているのので、安心して暮らしていけるようにしてほしい ・新しい町づくりに期待します。安心安全な町になってほしい ・被災した住民が住み慣れた町で安心して暮らして続けるまちづくりをお願いします ・流出した市民を呼び戻すような施策を ・人口が減ると文化コミュニティも廃れる。子育てがしづらくなる ・子供達の住みやすい町になってほしい ・転出せず地元に住み続けたい <p>■ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトシティーの構築 ・地域通貨(資金の流出防止のため)の導入 ・法人税免除の特区とし企業を呼び込むべき ・生ごみを焼却ではなく、発酵の力を利用した施設をつくり自然と3Rできる仕組みの創設を 	<p>P. 27</p> <p>} 項目4を追加</p>